

吉舎町自治振興連合会

検索

吉舎町自治振興連合会

検索

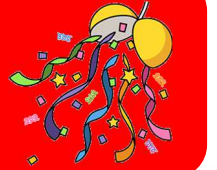
# まるごときんさい

2021(令和3)年 9月10日発行

※今月の「吉舎町人口の動き」は、吉舎支所ページに掲載しています

## まるごときんさい フルカラー版

## 150号記念



吉舎町自治振興連合会会長 平岡 誠

吉舎町自治振興連合会が毎月発行している「まるごときんさい」が、2009年4月10日第1号発行以来、今月の発行で第150号の節目を迎えることが出来ました。これまでの皆さまからの温かいご支援のお陰と心から感謝申し上げます。

「まるごときんさい」は、吉舎町のまちづくりと活性化を目指して一人でも多くの皆さまの参加を合言葉としてタイムリーな情報を発信することに努めてきたところです。担当事務局は毎月の編集会議で原稿集めや記事内容など喧々諤々しながら、紙面の充実を図ってきました。今では定着し少しは役立っているものと思っております。

これからも皆さまに親しまれる情報誌として担当事務局一同、頑張っております。これからも「まるごときんさい」をお願いいたします。

### 第150号発行にあたって

みんなで創る 吉舎町の情報誌 第100号 増刊号 ホームページ <http://www.pionet.ne.jp/~kisajichi/>

2017(平成29)年 7月10日発行  
 吉舎町 人口の動き  
 人口 3,904人(2人 先月比) 世帯数 1,751世帯  
 男 1,817人 女 2,087人 (平成29年6月30日現在)  
 65歳以上高齢者 8人 高齢化率(65歳以上) 45.5%

## まるごときんさい 100号記念

吉舎町自治振興連合会 吉舎支所

「創刊号からの表紙を掲載します。」

「まるごときんさい」は、2009年4月10日発行の創刊号から、今年7月10日発行の第150号まで、100号の節目を迎えることができました。この100号の発行にあたって、創刊号からの表紙を掲載させていただきます。また、これまで「まるごときんさい」に携わっていただいた、すべての皆さまに感謝申し上げます。これからもどうぞ「まるごときんさい」をよろしくお読みください。

（編中 浩幸）

### フルカラー版の発行

「まるごときんさい」は2017年7月に1000号を発行し、今回で1500号となりました。今までは2色刷りで発行してきましたが、1500号を記念してフルカラーで発行することにしました。吉舎町自治振興連合会のホームページには、今まで発行してきた「まるごときんさい」がPDFとしてフルカラーでご覧いただけます。紙面のフルカラーは初めてです。これからも時々フルカラー版を届けていきます。



**6つの自治振興会の紹介!**

フルカラー版を記念して、吉舎町内の6つの自治振興会の紹介を次ページより掲載しております。

「地域のことは、もう知ってるよ」って言うわけで、ぜひご覧ください。知らないこともあっても。



**よっしゃ吉舎の駐車場完成!**

待ちに待ったよっしゃ吉舎の駐車場が8月25日に完成しました。これまでご迷惑をおかけしていましたが、施設の前での駐車が一層便利となりました。これからは、駐車場も使ったイベントも開催していきます。よろしくお祈りします。

※駐車場は吉舎支所、広場は吉舎町自治振興連合会の管理となります。



最新号も合わせて、これまでの「まるごときんさい」の紙面は、吉舎町自治振興連合会のホームページでご覧いただけます。 <http://kisajichi.com/> QRコードはこちら→



活動紹介

吉舎自治振興会は  
吉舎コミュニティセンターを  
拠点に29常会5つの部で  
活動しています。

今年度から総務部と公園部が統合  
して『総務・公園部』福祉部と教  
養文化部が統合して『福祉文化  
部』となりました。



総務・公園部

部長 猪鼻 十三雄

コミュニティセンター大掃除 (11月)  
吉舎公園整備作業  
(12月と1月を除いて毎月)



環境衛生部

部長 加藤 敏宏



花いっぱい運動 (6月と10月)  
一斉清掃 (3月)

吉舎ふれあい巴まつり



10月 第3日曜日



歩いて歩いてふれあい  
健康づくり (年5回)

福祉文化部

部長 山西 啓子



ほたるを楽しむ会 (6月)  
ふれあい料理教室 (7月)  
吉舎の文化と自然を  
見つける会



女性部

部長 松浦 美恵子



吉舎地区社会福祉協議会と  
合同で研修旅行 (2月)



健康づくり&ミニ運動 (5月)  
グラウンドゴルフを楽しむ会 (11月)

体育部

部長 鎧坂 文雄



社会研修



吉舎自治振興会  
会長 平岡 誠

2004年の合併後、地域活動の中心が公民館活動から自治振興会に移行しては17年が経ちました。  
地域の皆さまには、これまで吉舎自治振興会活動に対して、積極的に協力して頂くとともに吉舎地区の活性化、発展に向けて多大なるご支援、ご協力を賜り心から感謝申し上げます。  
吉舎町の中心地にある吉舎地区は住民人口も多く、お互いの意識統一を図ることが困難な課題もありますが、「吉舎ふれあい巴まつり」をはじめ上記のとおり各々が担当する諸行事に多くの皆さまの参加によって楽しく交流が進められてきたことは、大きな成果と捉えています。  
今後とも行政をはじめ各種団体、グループと連携しながら自治振興会として、教育、文化、人権、福祉などの取り組みを進めると共に、自然災害から生命を守るため自主防災会の強化を図っていかねばならないと考えています。  
吉舎に住んで良かったと思っただけに、皆さまと力を合わせて頑張っていく決意です。これからもよろしくお願いたします。

元気が出る地域づくりのために、  
更なる自治振興会活動の強化をめざして

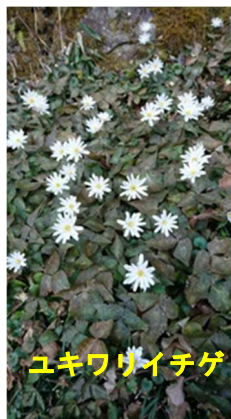
まあ！ちょっと寄ってみんさい 何にも無いようで！  
よく探せばなんかがあるところが安田なんよ。

希少山野草ユキワリイチゲ（白い花）、希少な渡り鳥ブッポウソウ  
絶滅危惧種ダルマガエルなど豊かな自然の安田をそっと体験！



**とみしの里**

備後小富士と呼ばれる登美志山の中腹に「とみしの里」はあります。秋から春にかけて山頂より360度の「霧の海」が望めます。



自然いっぱいの安田を大切に！

会長 田邊 俊

**春の行事 運動会**

**夏の行事 納涼の夕べ**

ブッポウソウ

彼岸花

ダルマガエル

**秋の行事 ふれあい秋の集い**

**冬の行事 山野草の観賞**

カザグルマ

**きさ安田パークゴルフ場**

のどかな雰囲気の中で気楽に  
パークゴルフを楽しみましょう

**灰塚ダムトライアルパーク**

自然を楽しむアクティブスポーツとして人気のトライアル競技場です。



過去・現在・そして未来へ

自治振興会の歴史の中で昨  
年からのコロナ感染症で、こ  
れほど事業実施について影響  
を受けたことはありません。  
公民館時代からの行事等古く  
から続いたものも含め中止、  
延期、縮小となっています。

コロナ感染も心配ですが、  
今、できる事、できる方法を  
皆で知恵を出し合って安全、  
楽しいイベントを開催でき  
らと思えます。

中四字自治振興会  
会長 野村 伸二



年の初め、その年の  
無病息災を願い正月飾  
りなどを焼く行事。各  
地で継承され正月明  
けの行事として定着  
しています。



絆



賑

中四字区民運動



ふ

吉舎ふれあい祭り出品灯ろう



祭

中四字ふれあい祭り

昭和42年海田原の「だ  
いきや河川敷」で始ま  
った中四字区民運動会  
は途中9年のブランク  
を挟み令和元年の開  
催を最後にコロナウ  
イルスの為中止とな  
っています。早期に  
終息し、また開催  
できるようにがんば  
りましょう。

吉舎の一大イベン  
ト、吉舎ふれあい祭  
り。写真は第30回  
の作品です。

地域の交流・振興を  
目的に毎年秋に開催  
される賑わった祭り。  
新鮮野菜の販売、  
バザーなど楽しい  
1日でした。



繋

そば打ち体験会

春休み、学校の勉  
強を離れ一生懸命に  
そば粉をこねる子供  
たち。楽しい体験に  
なればいいな。



梅

三玉銀山果樹園梅狩り

毎年、梅雨の中  
休みの時期に迎  
える梅の収穫。南  
高梅、しらかが梅  
など種類が植えて  
あり、約4日間の  
収穫日にはたく  
さんの人でにぎ  
わいました。



愛

中四字地区敬老会

9月の老人保健福祉  
月に、永年にわた  
って郷土・社会の  
発展と文化の興  
隆に貢献してこ  
られた、その年の  
対象の方々に招  
き寄せて開催さ  
れた祝賀会の記念  
写真。



そして



現在のJR吉舎駅



未来へ

昭和8年11月、福塩北線の終着駅として開業し、昭和13年7月福塩北線が現行の福塩線の一部となり、平成20年3月31日乗車券委託発券終了となり完全な無人駅となった吉舎駅の現在の姿。

昭和40年代多くの中高生の通学で賑わったのは過去。今は朝夕、高校生の通学時間以外、閑散としている昼間ですが、地域交通のひとつとして、また新しい活用方法を考え残していきたい風景です。



敷地といえは「花文字年賀状」



12月の第3日曜日、葉ぼたん約800株で敷地グラウンドに干支・イベント・話題等をテーマに花文字年賀状を咲かせ、年明けまでの約3週間見ることができます。高齢化社会の影響で、年々葉ぼたんの生産者が減っていますが先人の築いた、敷地の宝を守っていききたいとおもいます。

初夏は、鯉のぼり!



4月の第3土曜日、敷地グラウンドに鯉のぼり約25匹を泳がせます。傍らには保育所園児の手作りの小さな鯉のぼりも元気に泳いでいます。連休明けまで楽しめます。敷地の鯉のぼりで、皆さんに元気を与えます。

敷地にも名所・旧跡がたくさんあります。コロナ禍で遠出できませんが、ゆっくり散策してみてもいかがでしょうか。



二本杉



大楽寺しだれ桜



奥家住宅

創刊150号にあたり

人生100年と言われる時代になりましたが、災害、新型コロナと悩みは増えるばかりです。そんな時代を生き抜くためには、一つの安全圏一つの安全策・防衛策にすべてを賭けないよう、身の安全を守るために複数の避難場所として、三つくらい気の休まる安全圏を持ちましょう。

(1) 家庭・恋人

(2) 仕事、ボランティア活動

(3) 無心になれる趣味

(今迄経験や見たことない世界)

といったところです。「仕事が大事か、家庭が大事か」「残業が大事か、恋人とのデートが大事か」、そうした二者択一の状況では、どちらかを選ばなければいけないが、心にはもう一つくらい選択肢が欲しい。

そのためにある程度時間を割いて、三つくらい心身の逃げ場を用意して、メンテナンスしておくことが大切だと思います。

人は週に一回以上交流することで心や体の健康を保つことができ、認知症のリスクも下がることが明らかになっています。

すでに二つはあるけど、三つ目はないという人は、もう一つ心身の逃げ場を探しておき、『心に余裕』を忘れず、このコロナ禍も乗り切りましょう。

敷地自治振興会会長

福永 吉則



やわたはわれらがたからもの

八幡地域は国道184号線と県道28号線が走り、馬洗川・戸張川・火ノ川の3つの川が流れ、田んぼや畑が広がり、野山に囲まれた風光豊かな地域です。

吉舎町の南方に位置し、雲通・丸田・川之内・辻・松・清綱の6つの集落で構成されています。

世帯数は317世帯、人口671人です（令和3年7月31日現在）。八幡地域住民・八幡小学校・自治振興会・社会福祉協議会・自主防災会などの活動を通して、先輩方が築き上げられてこられた八幡地域ビジョンがあります。

「やわたはわれらがたからもの」

です。

○やさしい自然環境保全、  
○わいわいイベント・住民交流、  
○たのしく教育・人組織づくり、  
を目標に掲げて  
コミュニティ活動を行っています。



ふるさとの自然を保護しつつ、資源として活用をしています。

やさしい自然環境保全

「檜いこいの森」は、キャンプ場として整備されており、初夏のホタル祭り、秋のキノコ祭り、冬にはきのこのほだ木作りを開催し、地域住民を中心に多くの来訪者で賑わっています。



雲通の「品の滝」では、3つの異なる滝（三の滝は甲奴町）を中心に、遊歩道や沢周辺の景観が、四季折々の姿で私たちを魅了してくれます。



辻にはヒガンバナの大群生地があります。9月下旬頃になると、ヒガンバナが馬洗川沿いに広がる水田の一角の栗林を、深紅色に染め上げます。

山や谷に囲まれ、田畑を開墾して生きてきた先人たちの知恵を、継承して発展させつつ暮らしています。

わわわいイベント・住民交流

八幡の10月は、週ごとに各地域の神社でおまつりが開かれます。それぞれの地域で神事をおこない、屋台を出し、神楽を舞って神々とともに収穫を祝い楽しんでいきます。



特に、飢饉・疫病の難を逃れるために始まった「辻の神殿入り」は、竹に多くの燈明を吊るした氏子衆が参道を練り歩く姿が特徴的です。参道のいたる所にも燈明が灯され、収穫を終えた田んぼは燈明のイルミネーションに彩られ来訪者を喜ばせてくれます。

また、自治振興会や地区社会福祉協議会では、「ふれあいの夕べ」「ふれ愛まつり」「敬老会」「高齢者の集い」など、地域全体のイベントを実施し、小学校と連携して大運動会を開催し、住民どうし、あるいは内外のふれあいを大切にしています。



たのしく教育・人組織づくり

老若男女を問わず、この地域で楽しく暮らしていけるように。その願いに添って、自治振興会、地区社会福祉協議会をはじめ、各地区でサロンや青壮年会、子供会を組織し、地域活動に励んでいます。



八幡小学校と積極的に交流し、地域の伝統を継承する活動を行っています。また、自主防災会を組織し、災害が発生した時には迅速に対応すべく、避難訓練や講習会に取り組んでいます。



八幡自治振興会会長 紹介

たがみ たかはる  
田上 孝治 70歳



趣味 カラオケ  
トロンボーン  
野菜作りに励んで、  
出荷しています。

徳市の起源を遡ると、旧石器時代の徳市遺跡に見られるように、想像を超える長い時代を超えて今のコミュニティに繋がっていることに、壮大な歴史を感じさせてくれます。「わが里は 山あり 川あり ころあり」と詠われた歌碑は、旧八幡小学校徳市分校が建設されて以来、住民の心の拠り所、"心のふる里"として地域の絆の源となっています。今後も自治振興ビジョン「徳市の魅力である豊かな自然を守り、伝統ある歴史や文化を継承し、吉舎徳市自治交流センターを拠点として、住民一人一人が生き生きと、安心・安全に暮らせる地域づくり」に努めていきたいと思います。 徳市自治振興会会長 徳永春喜



【活力ある地域づくり】

地域の特性と創造力を活かし、徳市ならではの継続性のある地域づくりを推進

地域



【自主防災意識の高揚】

健康・福祉の増進や自然災害、火災等の際に住民の命を守る観点で、自主防災意識の高揚を図る

防災



【魅力ある事業の推進】

地域住民の繋がりを深め、生き生きと笑顔になれる魅力ある事業推進

事業



徳市は苦楽を共に生きた里  
地域の未来永遠に



【吉舎徳市自治交流センター拠点機能の向上】

地域の課題を把握し、行政及び関係機関への連携を取り拠点機能の向上を図る

施設



わが里は  
山あり  
川あり  
ころあり



三次市立吉舎小学校 校長 長手麻美（ながてあさみ）  
十日市在住



■自己紹介

今年四月に、庄原市立板橋小学校校長から吉舎小学校に校長として着任しました。これまで校長として三次市立川西小学校、三次小学校を経験させていただきました。私自身、県立日影館高校が母校になる関係で吉舎町に縁を感じています。

■抱負  
校長としての抱負は、①授業づくり②習慣づくり③信頼関係づくりのつも心に太陽を”です。教育に携わる者として、児童や教職員、保護者をはじめ地域の方々々に笑顔で接することを心がけています。

■「生きる力」を  
道徳学習プログラムでは、教員が地域のことを調べ、子供たちにどう伝えるかに力を入れています。六年生の授業では「日影館高校館祖・奥愛次郎先生」について教材化に取り組んでいます。着目したのは『衆縁和合』という校訓にもなり、今でもその精神が脈々と受け継がれていることです。

■「何のために」問い直して  
子供たちには、教材を通して「深く考える」ことを習慣化し、「自己を見つめ、人としての生き方について考え、よりよく生きようとする力」を育み、すべての子どもたちに「生きる力」をしっかりと身につけさせるよう力を注いでまいります。

町内の保育所、小中学校、高等学校が連携する「きさ教育の日」をはじめ、「きさ」小中一貫教育は、市内の他地域にはない特色ある取組です。教職員や保護者、子供たちも、代わって行く中、「何のためにそれをするのか」問い直していくことも必要だと感じています。最後にになりましたが、吉舎小学校教育の推進にあたりまして、ご家庭や地域の皆様のご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

取材に訪問すると笑顔で出迎えてくださり、インタビューの合間に教育談義に花を咲かせました。「今の子どもたち、吉舎の子どもたちはどうですか？」との問いに、「良いな」と思うこととして、「大人の顔色をうかがわない、人によって態度を変えない点です。」と印象を語っていただきました。いわゆる本来の子どもらしさ、素直な気持ちを表現されたのだと理解しました。「不易流行」（いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しく変化を重ねているものを取り入れていくこと）という言葉がありますが、これまで見させていただいた吉舎小教育がより高みを目指して、変革の時期を迎えていることを強く感じさせていただきました。

記事レポート 三次市集落支援員(吉舎地区) 徳永春喜

吉舎町自治振興連合会  
8月の理事会



8月18日(水)よっしゃ吉舎会議室で吉舎町自治振興連合会の理事会を行いました。今回の理事会は、2018年に作成した「地元関係図」の更新を三次市地域振興課の方と一緒に進めたいという趣旨で行いました。

「コミュニティ、福祉、農林、防災、子育て・教育、その他」の分類で各関係団体を記載し、関係図を作成しました。この関係図を活かした「朝の情報交流会 よっしゃきんさい」は有効であるとの地域振興課から意見もいただきました。これを元に吉舎町が「ひとつ」になるように連合会も活動してまいります。

きさ まるごと日程表 2021年9月19日～2021年9月20日		
9月19日(日)	八幡地区敬老会(記念品配布)	八幡コミュニティセンター
9月19日(日)	中四字地区敬老会(記念品配布)	中四字コミュニティセンター
9月20日(祝)	敷地地区敬老会(記念品配布)	敷地コミュニティセンター
9月20日(祝)	安田地区敬老会(記念品配布)	安田コミュニティセンター
9月20日(祝)	吉舎地区敬老会(記念品配布)	よっしゃ吉舎ホール